

火災予防のリーフレット配布

<平成29年度>

- ・20か所へ約600部を配布

【やってみよう!】

ご自身でお読みになることはもちろん、

所属団体・機関、地域の方々へ配布してみましょ。

ご希望の方は、市地域包括ケア推進課（☎21-3016）まで。

【取組方針（3）火災リスクに気づく人を増やす】



火の管理に関わる事業所へ



認知症サポーター養成講座を案内

<平成29年度>

- ・函館地方石油業協同組合 36事業所
- ・北海道LPガス協会 65事業所

【取組方針（3）火災リスクに気づく人を増やす】

地域ケア会議の体系構築

地域ケア会議をより効果的に行うために、

市と地域包括支援センターで検討を

すすめています。

【そのほかの取組】

地域ケア全体会議の開催

- ・開催日：平成30年3月10日（土）

- ・参加状況：81機関127人

♥講師を招き、「専門職と地域住民との連携による

“我が事・丸ごと”の地域づくり」についてみんなで学び、

さらに、シンポジウムを開催しました！

地域のボランティア、在宅福祉委員、介護支援専門員、

地域包括支援センターのそれぞれの立場から取組を発表しました。

意見交換では、取組を評価する声や、サロンなどの集いの場の運営についての

具体的な質問などがなされ、実りのあるシンポジウムとなりました。

参加者からは、「いろいろな機関の連携がすすんできたように感じる」との、

嬉しい感想も聞かれました！

【やってみよう!】

平成30年度も地域ケア全体会議全体会を開催いたしますので、

案内が届きましたら、ぜひご出席願います。一緒に地域づくりを考えましょう！

【そのほかの取組】



平成29年度函館市地域ケア全体会議報告書

共に支え合うまち函館を目指して

～認知症になっても自分らしく暮らせる地域づくり～

はじめに

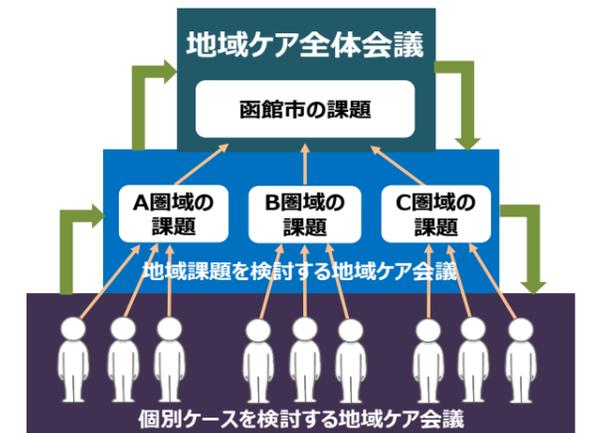
この報告書は、平成29年度函館市地域ケア全体会議にかかる、地域づくりの取組状況について、地域のみなさんや関係機関、行政、みんなで共有するために作成しています。

報告書の内容以外にも、地域ではさまざまな取組がなされていることと思います。**これからも取組の数を増やし、多くの方を巻き込んで、「共に支え合うまち函館」をみなさんと一緒に目指していきたいと思っています。**

函館市の地域ケア会議

函館市では、平成22年度より地域包括支援センターが、「個別ケースを検討する地域ケア会議」で、何らかの問題を抱えている高齢者の支援方法を検討するとともに、そこから地域に共通した課題を発見し、「地域課題を検討する地域ケア会議」でその解決方法を検討しています。

さらに、平成28年度からは、市と地域包括支援センターが協働し「地域ケア全体会議」を開催し、『認知症になっても住み慣れた地域で、その人らしい生活を営むための、住民、関係機関、行政の総合力による地域づくり』を目指しています。



地域づくりの2つの柱と取組方針

平成28年度函館市地域ケア全体会議において、以下の2つの柱と取組方針を地域のみなさん、関係機関、行政で共有しました。

【2つの柱】

- 認知症の人の理解者・協力者を増やす
- 認知症の人の火災リスクを減らす

【取組方針】

- (1) 必要な知識の普及
- (2) 相談しやすい仕組みづくり
- (3) 火災リスクに気づく人を増やす

共に支え合うまち函館を目指して

～ 認知症になっても自分らしく暮らせる地域づくり ～

地域の支え合いのパンフレット配布

ご近所の異変を察知するポイントなど
地域の方向けの意識づけのパンフレットです。

<平成29年度>

- ・40か所へ約1,000部を配布
- ・一部の町会では全戸配布を実施！



【やってみよう！】

ご自身でお読みになることはもちろん、
所属団体・機関、地域の方々へ配布してみましょう。
ご希望の方は、市地域包括ケア推進課（☎21-3016）まで。

【取組方針（1）必要な知識の普及】

認知症サポーター養成講座

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、
地域で認知症の人やその家族に対して
できる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成する
講座です。（所要時間は1時間から1時間半程度）

<平成29年度>

- ・開催：54回 受講：1,705人
- ・町会や学童保育、企業などで開催しました！

【やってみよう！】

まずは、ご自身が受講し、
サポーターになりましょう！
町会や所属団体・機関などで開催できます。
開催依頼は、市高齢福祉課（☎21-3081）
または、各圏域の地域包括支援センターへ。



【取組方針（1）必要な知識の普及】



地域づくりの2つの柱

認知症の人の理解者・

協力者を増やしていこう！

認知症の人の火災リスクを

減らしていこう！

介護支援専門員と地域がつながる仕組みづくり

<part1> 地域ケア全体会議介護支援専門員研修

- ・開催日：平成29年11月11日（土）
- ・参加状況：介護支援専門員 75人
地域包括支援センター 28人

♥地域とつながる大切さを学び、地域とつながるためには
どうしたらよいかのアイデアを出し合いました。

「民生委員さんや町会の方と一緒に研修をしてみてもどうか」

「事業所が町会行事へ参加してはどうか」

「地域のお店と顔見知りになって相談してもらえる関係になる」

など、その他たくさんのアイデアが出ました！



<part2> 地域ケア全体会議介護支援専門員部会

- ・開催日：平成30年1月26日（金）
- ・参加状況：介護支援専門員 9人
地域包括支援センター 10人

♥part1でのアイデアをもとに検討しました。

その結果、地域の民生委員さんや町会の方向けの、
『介護支援専門員の活用方法』が分かる

パンフレットのようなツールを作成すること
になりました！

今後、より具体的に検討をすすめていきます。

【取組方針（2）相談しやすい仕組みづくり】

在宅福祉委員会との連携強化に向けた意見交換

川原町在宅福祉委員会にお声をかけていただき、
市と地域包括支援センターがうかがいました。

そのほか、市と社会福祉協議会で意見交換を行い、
連絡方法など連携強化に向けた糸口が見えてきたところです。

【取組方針（2）相談しやすい仕組みづくり】

地域見守り活動協定事業者との意見交換

宅配や集金などで、高齢者のお宅を訪問する
事業所等が、業務中に高齢者の異変に気づいたら、
市へ相談していただくといった、地域の見守り活動の協定です。

<平成29年度>

- ・協定を結んでいる18事業所中、13事業所17人が出席
- ・事業所の方からは「市へ相談する判断が難しい時がある」
とのご意見があり、市から「気軽に相談をお願いしたい」と
お伝えしています。



【取組方針（2）相談しやすい仕組みづくり】